

4月13日(土)～14日(日)「鈴鹿2&4レース」
2013年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ

第1戦鈴鹿大会選手権概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 白井 裕、所在地:東京都千代田区)は、4月13日(土)～14日(日)の2日間、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周 5.807km)で開催される鈴鹿2&4レース「2013年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第1戦鈴鹿サーキット」について選手権概要を発表する。

株式会社日本レースプロモーションは、1996年以来17年間親しまれてきた国内最高峰フォーミュラレース シリーズの名称を、本年より「全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ」と改め、2013年全日本選手権タイトルを懸けてこの第1戦鈴鹿大会よりスタートする。

開幕戦の鈴鹿大会は、三重県鈴鹿サーキット国際公認レーシングコースを51周、トータル296.16kmで争われる。このシリーズ最長のレースを制するには、ドライバーの能力と共に各チームのレース戦略が重要となる。タイヤ交換のタイミングや、燃料補給のためのピットイン戦略が勝敗に大きく影響し、ドライバーを含むチームの総合力が問われる。

公式予選はノックアウト方式で行われ、決勝レースのスタート位置を決定するためにQ1、Q2、Q3の、計3回の予選が行われる。本大会のように19台エントリーの場合にはQ1(20分間)で15位から19位のスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位のスタート位置を決定する。さらに10分間のインターバルの後Q3(7分間)を行い、1～8位までの決勝レーススタート位置を決定する。文字通りの好タイムが出なければノックアウト(脱落)されることから、ノックアウト方式(勝ち抜き戦)と呼ばれる。

この鈴鹿大会には、11チーム、19名の選手がエントリーしている。2007～2008年2年連続チャンピオンを獲得した松田次生(レノボ チーム インパル)。2010年のチャンピオン、J. P. デ・オリベイラ(レノボ チーム インパル)。2012年チャンピオンの中嶋一貴(ペトロナス・チーム・トムス)など、年間ドライバーチャンピオンを経験した実力派の3選手がエントリーしている。また昨年最終戦まで中嶋一貴とともに年間ドライバーチャンピオンタイトルを巡り激しく争い、惜しくも同ランキング2位となった塚越広大(エイチピー リアルレーシング)が、今年はチームを移籍して気分一新。初タイトル獲得に燃えている。また同ランキング3位に甘んじた伊沢拓也(ドコモ チーム ダンディライアンレーシング)も、タイトル争いに加わるのは必至だ。さらにアメリカのインディカーシリーズにフル参戦している佐藤琢磨(チーム無限)がこのスーパーフォーミュラ開幕戦に参戦を決定。合同テストで好調な滑り出しを見せたナカジマレーシングの小暮卓史、中嶋大祐の2人もタイトル争いの戦列ににわり、アジア最高峰のフォーミュラカーレースに相応しい、ハイレベルな戦いが期待される。

ルーキーでは、昨年度3つのシリーズ戦に出場し、全日本F3、ポルシェカップでチャンピオンを獲得。FCJでも年間ランキング2位を獲得した平川亮(キグナス スノコ チーム ルマン)に注目が集まる。

また海外勢では、前述のブラジルからのJ. P. デ・オリベイラをはじめ、イギリスからのジェームス・ロシター(ペトロナス・チーム・トムス)、リチャード・ブラッドレー(KCMG)、イタリアからアンドレア・カルダレッリ(キグナス スノコ チーム ルマン)らの強豪が開幕戦に参戦する。

2013年シリーズ選手権 ポイントシステム

■選手権ポイントシステム

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	PP
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5+3	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

※2レース制に限り第1レース、第2レースの勝者に通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

【ご参考】

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、日本自動車連盟（JAF）が公認し、日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースで、日本国内5か所と大韓民国1か所のサーキットを転戦。本年は全7戦+特別戦1戦を開催する。

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、日本レースプロモーションより賞金と、シリーズ ドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯、観光庁より観光庁長官杯が贈られる。また年間チャンピオン チームには経済産業省より経済産業大臣杯が贈られる。

3. レース車両

シャシーは米国スウィフト・エンジニアリング社製のSF13。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量3,400cc、V型8気筒自然吸気エンジン、HONDA HR12EまたはTOYOTA RV8Kを使用する。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメーク。

4. オーバーテイクシステム

ステアリングにあるボタンを押すと、20秒間エンジン回転数がアップし加速力が加わる。このシステムは決勝レース中5回まで使用することが可能で、追い越しなどを容易にする。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ（リーダーズレッド）を装着している。これはスーパーフォーミュラ独特の仕組み。

2013年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド	サーキット
4 / 13~14	第1戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
6 / 1~2	第2戦 オートポリス	オートポリス
7 / 13~14	第3戦 富士スピードウェイ	富士スピードウェイ
8 / 3~4	第4戦 ツインリンクもてぎ	ツインリンクもてぎ
8 / 24~25	第5戦 インジェ（大韓民国）	インジェ インターナショナル サーキット
9 / 28~29	第6戦 スポーツランドSUGO	スポーツランドSUGO
11 / 9~10	第7戦 鈴鹿サーキット	鈴鹿サーキット
11 / 23~24	特別戦 FUJI SPRINT CUP 2013	富士スピードウェイ

2013年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第1戦 鈴鹿エントリーリスト

(シャーシ：SF13、タイヤ：ブリヂストン)

No.	ドライバー	年齢 出身	チーム 監督	エンジン
1	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県	PETRONAS TEAM TOM'S ペトロナス・チーム・トムス 館 信秀	TOYOTA RV8K
2	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983.8.23 イギリス		
3	安田 裕信 Hironobu Yasuda	1982.11.11 日本 滋賀県	KONDO RACING コンドー レーシング 近藤 真彦	TOYOTA RV8K
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994.3.7 日本 広島県	KYGNUS SUNOCO Team LeMans キグナス スノコ チーム ルマン 土沼 広芳	TOYOTA RV8K
8	アンドレア・カルダレリ Andrea Caldarelli	1990.2.14 イタリア		
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	HP REAL RACING エイチピー リアル レーシング 金石 勝智	HONDA HR12E
11	中山 友貴 Yuhki Nakayama	1987.7.29 日本 石川県		
15	佐藤 琢磨 Takuma Sato	1977.1.28 日本 東京都	TEAM 無限 チーム 無限 手塚 長孝	HONDA HR12E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県		
18	リチャード・ブラッドレー Richard Bradley	1991.8.17 イギリス	KCMG ケーシーエムジー 土居 隆二	TOYOTA RV8K
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL レノボ チーム インパル 星野 一義	TOYOTA RV8K
20	松田 次生 Tsugio Matsuda	1979.6.18 日本 三重県		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本 愛知県	NAKAJIMA RACING ナカジマ レーシング 中嶋 悟	HONDA HR12E
32	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県		
38	平手 晃平 Kohei Hirate	1986.3.24 日本 愛知県	P.MU/CERUMO INGING プロムュー/セルモ・インギング 立川 祐路	TOYOTA RV8K
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県		
40	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984.6.1 日本 東京都	DOCOMO TEAM DANDELION RACING ドコモ チーム ダンデライオン レーシング 村岡 潔	HONDA HR12E
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	1982.10.6 日本 東京都		
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	1983.4.25 日本 愛知県	TOCHIGI Le Beausset Motorsports トチギル・ボーセ モータースポーツ 坪松 唯夫	TOYOTA RV8K

－開催概要－

- 大会名称 : 鈴鹿2&4レース
2013 全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第1戦 鈴鹿サーキット
2013 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦
- 併催レース : 2013年 全日本フォーミュラ3選手権 第1戦&第2戦
Honda Sports & Eco Program CR-Z 10リッターチャレンジ
- 主催 : (4輪) グループ・オブ・スピードスポーツ (GSS) / 鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)
/ 株式会社モビリティランド
(2輪) 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ) / 株式会社モビリティランド
- 公認 : (4輪) 国際自動車連盟 (FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
(2輪) 国際モーターサイクリズム連盟 (FIM) / 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
- 認定 : (4輪) 株式会社日本レースプロモーション (JRP) / 日本フォーミュラスリー協会 (JF3A)
- 後援 : 文部科学省 / 観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 / 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
/ 一般社団法人鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所

【TV放映予定】

- 「J SPORTS 1」 : 全戦決勝レースをライブ中継。また決勝レースのリピート放送やレースダイジェスト番組も放送。
*リピート放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブ (<http://www.superformula.net/>) または J SPORTS ホームページ (http://www.jsports.co.jp/program_guide/month/japanese/c_month14.html) にてご確認ください。
- 「BSフジ」 : 大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特集を放送。
*放送日、放送時間はスーパーフォーミュラオフィシャルウェブ (<http://www.superformula.net/>) をご確認ください。
- YAHOO! GyaO! : 大会終了14日後 24:00～
スーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて配信。

*放送日、時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ (<http://www.superformula.net/>) でご確認ください。

【チケット情報】

- 観戦券 (2日間有効) * 4月12日 (金) も入場可
大人 ¥3,900 (遊園地パスポート1日付)
中・高校生 ¥1,600 (入場のみ)
- *観戦情報、チケットなどの詳細は、鈴鹿サーキットホームページ (<http://www.suzukacircuit.jp/>) をご参照ください。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)
102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
e-mail : media@superformula.net
Tel:03-3237-0131 Fax : 03-3237-0135
広報担当 : 遠藤清人 携帯電話 : 090-3401-8112
e-mail : media@jrp-inc.net